

# 第2回 第4次静岡市総合計画策定会議

日時：2021年7月20日（火）

10時30分から12時00分

会場：静岡庁舎新館8階 市長公室

## 1 開会

## 2 市長挨拶

## 3 議題

(1) 目標人口の考え方 資料1

(2) 基本構想の概要 資料2

(3) 3次総の評価及び4次総の方向性 資料3

(4) 各部会の進め方 資料4

※ 具体的な作業内容は局企画主任者会議（8月3日）で説明予定

(5) 市民参画、有識者ヒアリング 資料5

## 4 閉会

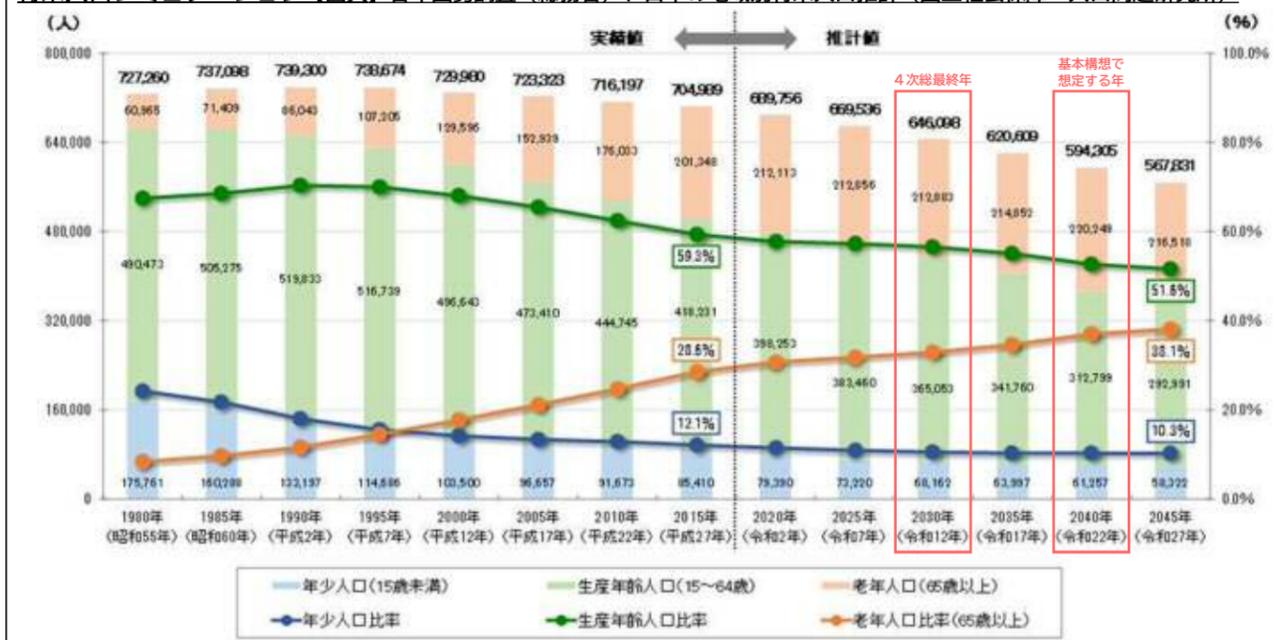
次回会議（予定） 9月15日（火）14:30～16:00

# 3(1) 目標人口の考え方(案)

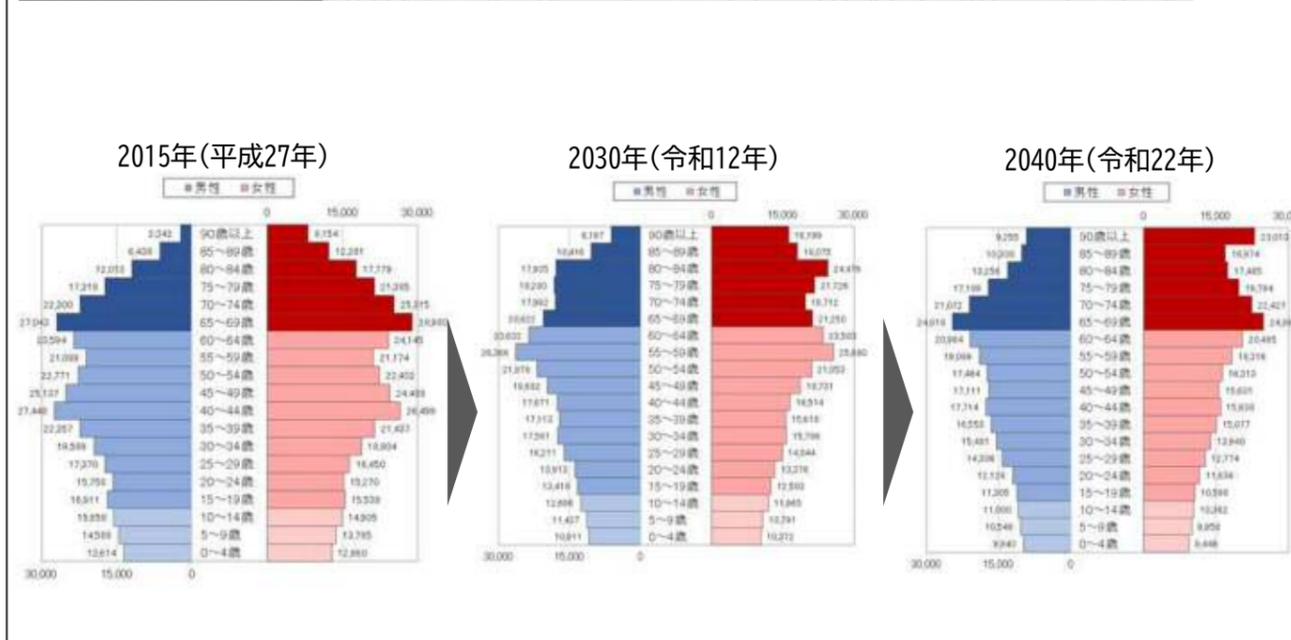
## 【3次総における目標人口と現状について】

- 3次総策定時には、都市活力の源泉の一つである「人口規模」を重要視し、かつ、市民にとってわかりやすい目標を設定することを主眼として、「2025年の総人口70万人維持」を最大目標に掲げた。
- 各種取組を進めてきた結果、平成29年と令和2年には、社会増減がプラスに転じるなど、人口減少速度は鈍化している状況にある。
- しかし、国全体での人口減少、少子高齢化に歯止めがかかっていないことや、人や企業の東京一極集中が依然として是正されていないなどの要因から、本市の人口は減少傾向が続いており、平成30年には住民基本台帳登録人口が70万人を下回り(698,733人)、更に、令和2年の国勢調査(速報値)においても同様に、70万人を下回った(693,759人)。

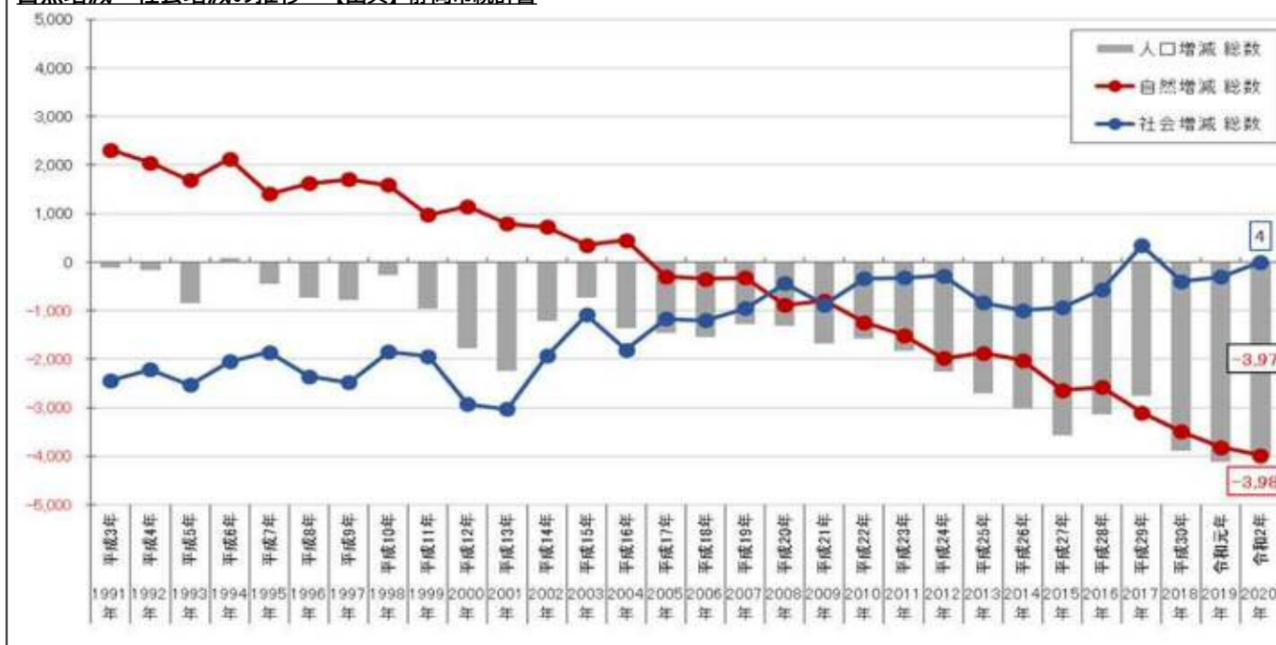
将来人口シミュレーション【出典】各年国勢調査(総務省)、日本の地域別将来人口推計(国立社会保障・人口問題研究所)



人口ピラミッドの推移【出典】各年国勢調査(総務省)、日本の地域別将来人口推計(国立社会保障・人口問題研究所)



自然増減・社会増減の推移【出典】静岡市統計書



令和2年国勢調査結果(速報値)

【令和2年調査(速報値)】

	人口	人口(男)	人口(女)	世帯数
静岡市	693,759	337,888	355,871	296,778
葵区	249,451	120,009	129,442	105,040
駿河区	213,107	105,156	107,951	96,030
清水区	231,201	112,723	118,478	95,708

【前回(平成27年)調査】

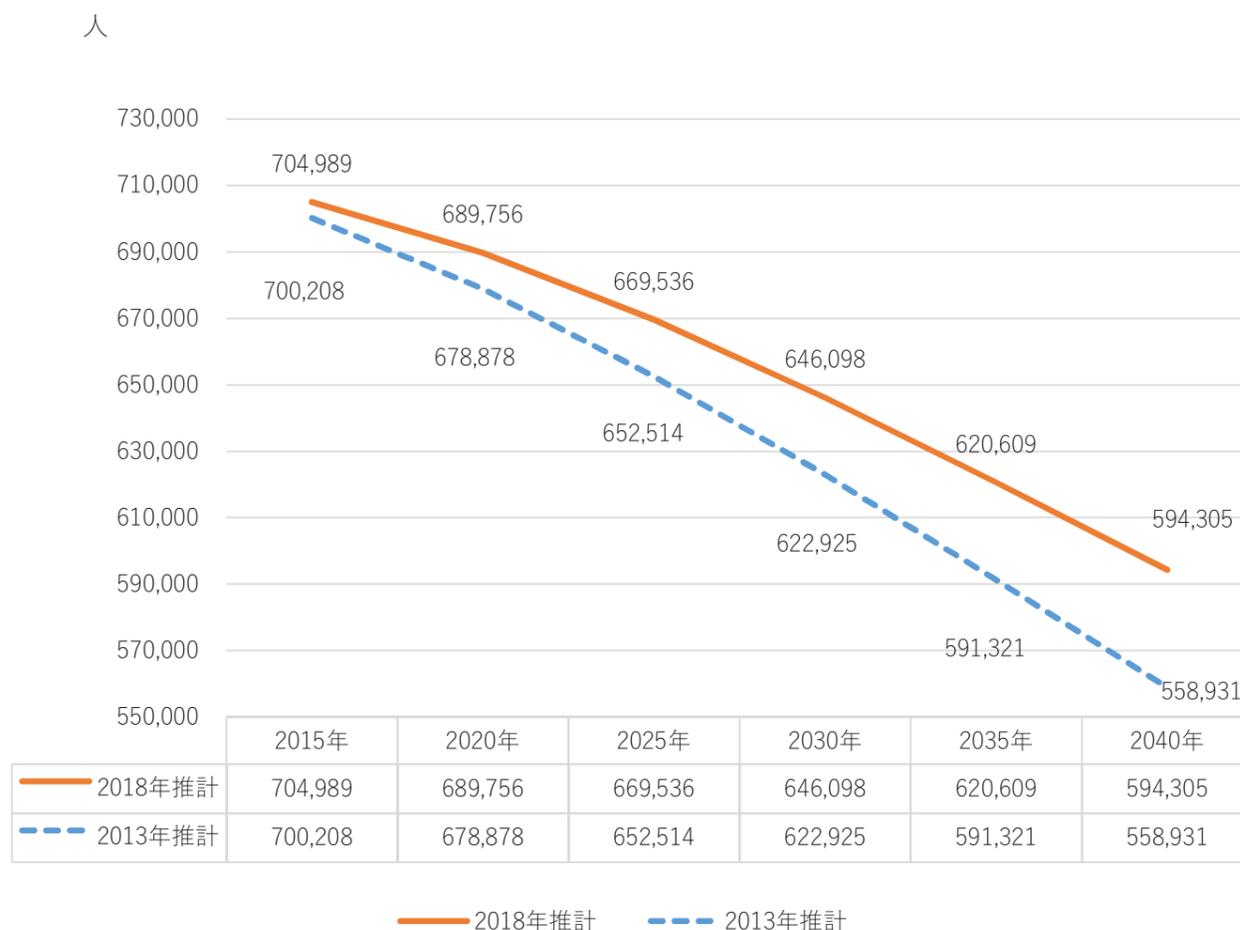
	人口	人口(男)	人口(女)	世帯数
静岡市	704,989	343,338	361,651	286,013
葵区	253,593	121,761	131,832	101,673
駿河区	212,419	105,257	107,162	90,631
清水区	238,977	116,320	122,657	93,709

# 3(1) 目標人口の考え方(案)

## 【3次総における目標人口と現状について】

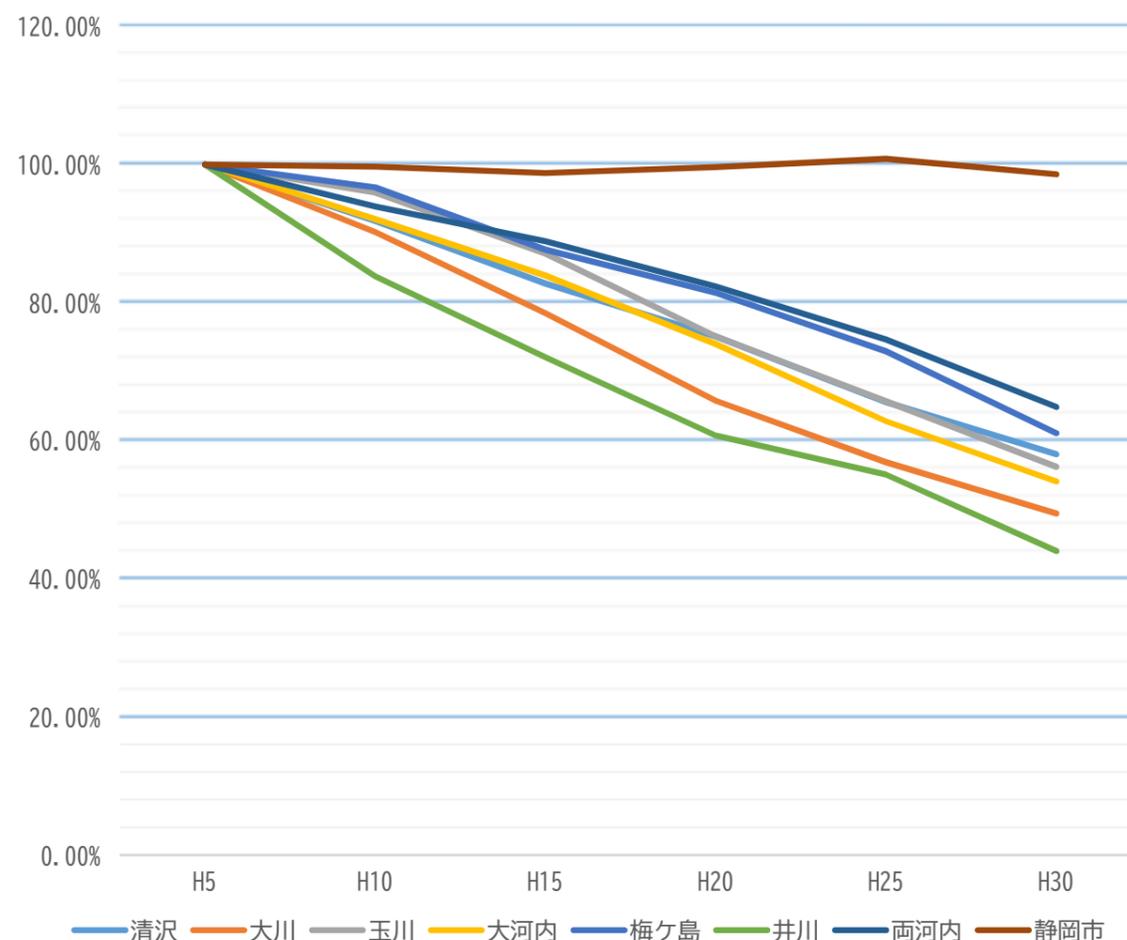
- 国立社会保障・人口問題研究所が2013年に推計した数値と2018年に改めて示した数値では、2025年の人口推計は、約65万人から約67万人になり、2040年の人口推計では、約56万人から約59万5千人と3万5千人ほど上方修正されるなど、3次総の取組の効果が表れている。
- 一方、平成5年からの約30年間で中山間地域の人口は約4割減少するなど、静岡市全体の減少率に比べて、深刻な状況に置かれている。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が示した推計



静岡市全体と中山間地域の人口推移

(平成5年の人口を100%とした場合の人口減少率)



## 【4次総における目標人口の考え方(案)について】

- 移住促進事業等の取組を継続し、予測されている人口減少速度を鈍化させ、定住人口の維持を図る。
- 人口減少傾向は今後も続くことが確実視されているため、4次総においては、単純に人口規模のみを目標とするのではなく、交流人口や関係人口といった概念を取り込み、「定住人口が減少しても活発な都市活動が行われる状態」を維持すること(人口活力の維持)を目指す。  
(第2期総合戦略と同様の考え方)
- 具体的な目標や指標の設定については、引き続き、策定会議での議論を踏まえ検討していく。
- 市内全体と比較すると中山間地域の人口減少は待ったなしの状況であり、持続可能な社会を目指す上でも、後継者・労働者不足が顕在化している中山間地域の人口減少対策が必要となる。

# 3 (2) 基本構想の概要 (案)

## 【基本構想の改定の考え方】

- ・基本構想の構成は変更しない
- ・まちづくりの目標である『世界に輝く静岡』の実現は継続する
- ・目指す都市像のキーワードである「歴史文化のまち」及び「健康長寿のまち」は、重点プロジェクトや5大構想とも重複し、混乱を招く要因となっているため削除し、SDGsの視点などを取り入れ、持続可能なまちづくりに変更する
- ・市政のさらなる展開の考え方は継承するが、キーワードを「経済の活性化」と「暮らしの充実」とし、それを実現するために、7大構想などを重点的に推進していく (※ 基本構想に7大構想という表現は使用しない)

### 3次総【基本構想】

#### 1 まちづくりの目標

『世界に輝く静岡』の実現

#### 2 目指す都市像

「歴史文化のまち」  
づくり

「健康長寿のまち」  
づくり

#### 3 市政のさらなる展開

「創造する力」による  
「都市の発展」

「つながる力」による  
「暮らしの充実」

#### 4 基本計画の策定

#### 基本計画

【重点プロジェクト】  
◇歴史 ◇文化 ◇中枢 ◇健康 ◇防災 ◇共生

分野別計画 (10分野)

### 4次総【基本構想】 (イメージ)

#### 1 まちづくりの目標

『世界に輝く静岡』の実現  
世界に輝く静岡とは「世界中から人が集まるまち(定住人口、交流人口、関係人口)」

#### 2 目指す都市像

持続可能なまちづくりetc

#### 3 市政のさらなる展開

「経済の活性化」

「暮らしの充実」

#### 4 基本計画の策定

#### 基本計画

【世界に存在感を示す拠点づくり】 (案)  
◇歴史文化 ◇教育・スポーツ文化  
◇海洋文化 ◇森林文化

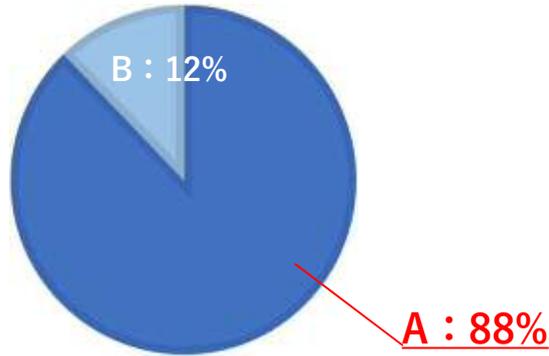
【生活の質を高める仕組づくり】 (案)  
◇健康長寿 ◇安全・安心  
◇まちは劇場

分野別計画 (10分野)

**評価基準**

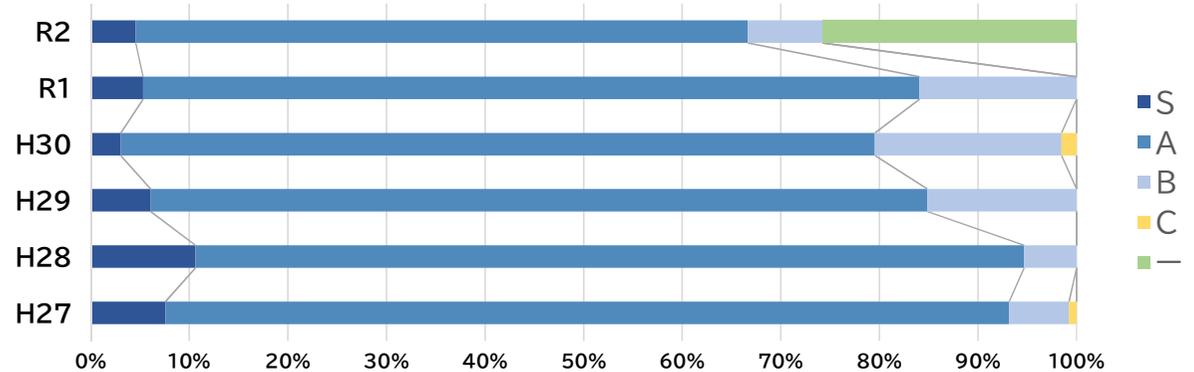
S:政策・施策の目的が十分に達成されている    A:政策・施策の目的が達成されている  
 B:政策・施策の目的があまり達成されていない    C:政策・施策の目的が達成されていない

**政策評価結果(H30実施)**

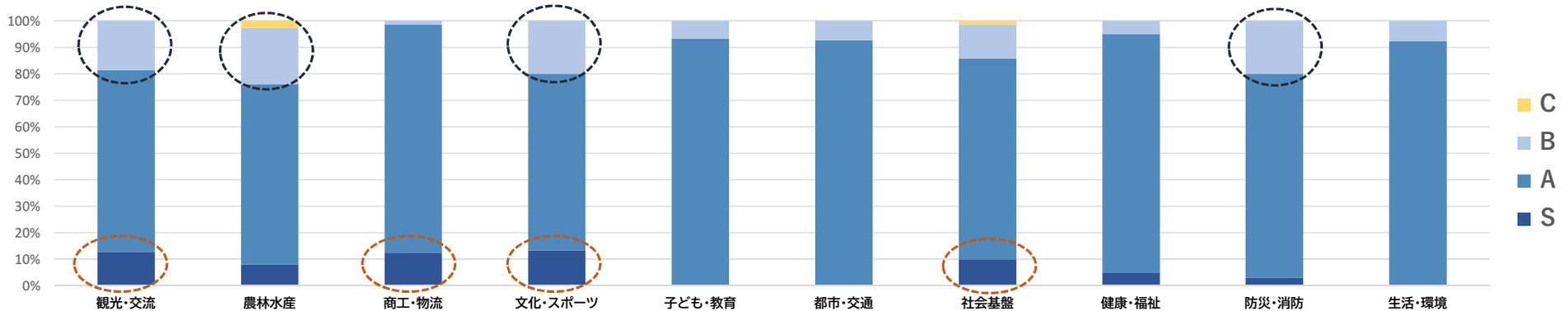


**施策評価結果(毎年実施)**

毎年度A以上が概ね80%以上



**分野別 施策評価結果(H27~R1)**



**評価の高い項目**

観光・交流	関連施設・イベント入込客数	商工・物流	企業立地、ロジスティクス企業立地件数
文化・スポーツ	芸術文化事業来場者数	社会・基盤	既存道路照明灯のLED化した件数

**改善すべき項目**

観光・交流	市町村魅力度ランキング、来訪・滞在者対応満足度	農林水産	産地・産業を担う人材・組織の育成
文化・スポーツ	スポーツを活かしたMICE(市外からの参加者数)	防災・消防	気象情報等の情報伝達体制

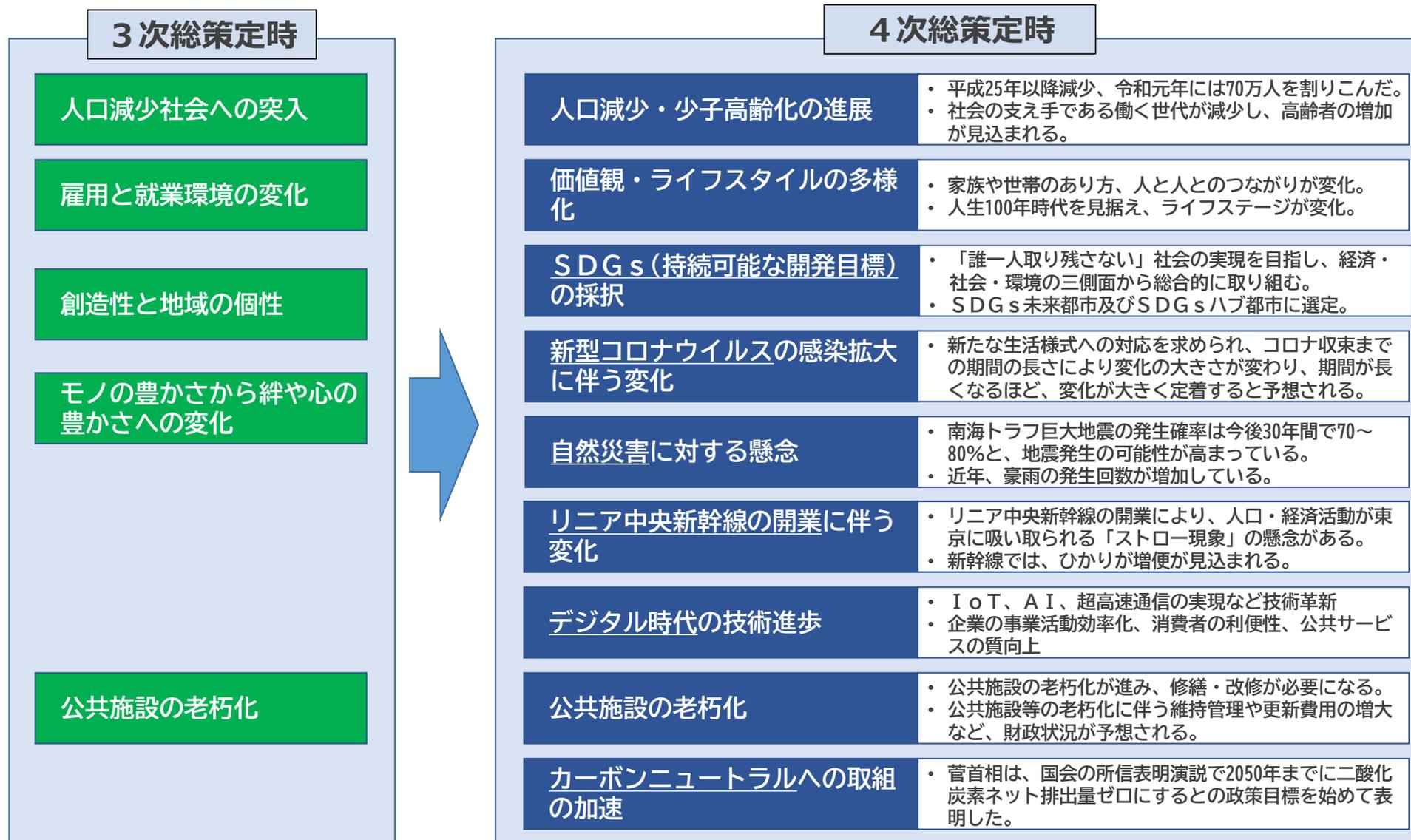
- ▶ 評価が全般的に良化傾向となったのは、アウトプット指標が多かったなど、指標として適切ではない等の理由が考えられるため、4次総ではロジックモデルなどの活用により、指標設定の改善を図っていく
- ▶ 改善すべき項目については、事業の必要性や取組内容の変更などを改めて検討していく
  - 観光・交流 ⇒ 5大構想のさらなる推進
  - 文化・スポーツ ⇒ スポーツの取組を強化
  - 農林水産 ⇒ 持続可能な社会の構築
  - 防災・消防 ⇒ 強靱で安心できる生活環境の構築

### 3(3) 3次総の評価及び4次総の方向性(5大構想(案))

5大構想	取組実績	参考指標	目標値(R4)	4次総イメージ
			3次総開始時 最新値	
歴史文化の 拠点づくり	<b>【できたこと】</b> ・歴史博物館の建設着手 ・葵舟運航開始 ・「駿州の旅」日本遺産認定 ・東御門・異櫓リニューアル ・追手町音羽町線等のにぎわい空間の整備 (駿府ホリノテラス、城内1号線) <b>【継続していくこと】</b> ・天守台跡野外展示の整備 ・歴史博物館の運営、資料収集の効果的な実施	静岡市の歴史を誇りに思う市民の割合	82% (R4)	・駿府城公園のハード整備はおおむね完了してきている。 ・令和5年春開館予定の歴史博物館を核として、駿府城公園周辺エリアの歴史資源を磨き上げ、活用するフィールドミュージアムの取組みを進める。 ・さらに歴史資源とまちの機能(商業・飲食・サービスなど)をつなぐことにより、観光などによる来街者を増やし、地域経済の活性化を図る
			-	
		77.1 (H30)		
		2,206千人 (R4)		
		2,116千人 (H22-25平均)		
2,135千人 (H28-R1平均)				
海洋文化の 拠点づくり	<b>【できたこと】</b> ・公民連携協議会の発足 ・GDの策定 ・防潮堤工事着手 ・港のブランディング ・海釣り公園工事着手 ・国際クルーズ拠点視点 <b>【継続していくこと】</b> ・海洋文化施設の検討 ・海洋MICE誘致 ・GDリーディングプロジェクト推進 ・民間企業等による地域づくり支援	客船寄港数	40回 (R4)	・港湾整備や港のブランディング事業により着実に清水港の価値が高まっている。 ・引き続き、国・県・民間等と連携しながら、GDの具体化を目指していく。 ・また、核となる施設整備の検討を進めるとともに、客船による賑わい創出や、まちへの展開を図るため、民間開発の支援等を実施していく。
			7回 (H25)	
		40回 (R1)		
		5,743千人 (R4)		
		5,512千人 (H22-25平均)		
5,492千人 (H28-R1平均)				
教育文化の 拠点づくり	<b>【できたこと】</b> ・アート&スポーツ/ヒロバオープン ・GDの策定 ・常葉大学草薙キャンパス開校 ・草薙カルテッド都市再生推進法人化 ・静岡シチズンカレッジ こ・こ・こに 開設 <b>【継続していくこと】</b> ・東静岡市有地の活用	JR草薙の乗降客数	21,922人※ (R4) ← 18,709人	・静岡シチズンカレッジ こ・こ・こに開設など、生涯にわたり学ぶ意識の醸成が少しずつ図られてきている。 ・引き続き、まちづくりはひとつづくりをテーマに、取組をすすめる。 ・また、グランドデザインにも示した、スポーツ交流・振興の取組を強化していく。 ※ JR草薙駅の乗降客数は目標値を達成したので上方修正
			17,008人 (H24)	
		21,922人 (R1)		
		20% (R4)		
		11% (H25)		
14.6% (H30)				
「健康長寿の まち」の推進	<b>【できたこと】</b> ・CCRC事業の実施 (みなくる・札の辻クロスオープン) ・NEXTワークしずおかオープン ・かけこまち七間町オープン <b>【継続していくこと】</b> ・「静岡型地域包括ケアシステム」の構築	健康寿命	75歳 (R4)	・健康寿命の延伸については、一朝一夕で効果が出るものではないため、認知症支援体制整備の強化などの取組を引き続き実施していく。 ・自宅ですっとプロジェクトの取組などにより、自宅看取り率が少しずつ上昇している。 ・健康長寿のまちづくり計画(H30~R4)等の評価を行い、課題を把握・検討した上で、地域共生社会の実現に向けて進めていく。
			男71.28歳 女74.63歳 (H22)	
		男72.53歳 女73.91歳 (H28)		
		30% (R7)		
		14.2% (H28)		
17.9% (H30)				
「まちは劇 場」の推進	<b>【できたこと】</b> ・まちなかの賑わいの創出(まち劇スポット等) ・「まちは劇場」を意識した都市の再整備 ・フェスティバル評価システムの構築と運用 <b>【継続していくこと】</b> ・SNS等を活用した効果的な情報発信 ・静岡市民文化会館の再整備	市民が「まちは劇場」を推進していることの認知度	30.0% (R4)	・毎週末、まちなかの公共空間で賑わいが創出されている。 ・市民が主役となった「共創型」のフェスティバルを推進し、かつ、地域経済の活性化を図る。 ・インパウンドを意識した情報発信を継続して実施していく。
			16.1% (H30)	
		16.3% (R2)		
		50.0% (R4)		
		40.2% (H28)		
20.8% (R1)				

➤ 3次総期間中、5大構想として様々な事業を推進してきた結果、上記の取組実績のような結果が得られた、一方、まだ完了していない取組も多く指標にも効果が表れていない状況もあるため、引き続き、4次総においても5大構想を推進していく。

### 3 (3) 3次総の評価及び4次総の方向性 (時代の潮流)



### 3 (3) 3次総の評価及び4次総の方向性 (5大構想から(仮)7大構想へ(案))

- 5大構想については、すでに事業効果が上がっているものもあるが、未完了の事業もあるため、4次総においても引き続き推進していくこととする。
- さらに、3次総から4次総における時代の潮流・情勢（ポストコロナ、自然災害など）やSDGsの視点（持続可能性）等を勘案し、4次総の重要政策について検討していく。

ポストコロナにおける新たな価値観を取り入れ5大構想を成熟・深化させる

人口

急激に人口減少が進む中山間地域の振興  
(市域の70%を占める市の重要エリアの持続可能性)

3次総  
評価

産地・産業を担う人材・組織の育成  
(中山間地域の産業・文化の継承のための担い手確保)

SDGs

自然と経済の両立  
(豊かな自然環境の保全と中山間地域の経済活性化の両立)

持続可能な  
中山間地域の形成

森林文化の拠点づくり

新型コロナウイルスなど感染症への対応  
(コロナ、新たな感染症等への備え)

時代の  
潮流

自然災害の増加・激甚化への対応  
(頻発する風水害や地震への備え)

時代の  
潮流

社会基盤整備と市民への適切な情報発信  
(社会基盤整備の効果を高めるため、防災情報などの適切な発信)

3次総  
評価

強靱で安心できる  
生活環境の構築

安全・安心なまちの推進

### 3 (3) 3次総の評価及び4次総の方向性 (4次総の体系図 (案) )

## (仮)世界に輝く静岡の実現

成熟都市 =  
経済の活性化+暮らしの充実

世界に輝く静岡とは「世界中から人が集まるまち(定住人口、交流人口、関係人口)」

- ① 世界中から人を集めるためには、静岡市が輝いて目立っていなければならない。
- ② 静岡市が輝くためには、ハードの磨き上げとともに、市民のQOLの向上が重要。

『静岡らしさの追求』

実現のために配慮するポイント

SDGs

グリーン

デジタル

基本構想の実現を牽引する主要な取組

### (仮)7大構想

#### 世界に存在感を示す4つの拠点づくり

経済の活性化

「静岡」  
歴史文化

「清水」  
海洋文化

「東静岡・草薙」  
教育・スポーツ  
文化

「中山間地」  
森林文化

#### 生活の質を高める3つの仕組みづくり

暮らしの充実

「まちは劇場」  
の推進

「健康長寿の  
まち」の推進

「安全・安心の  
まち」の推進

※7大構想はロジックモデルを作成し、プログラム評価を実施する

基本構想の実現のベースとなる取組

### 10の基本分野

観光  
交流

農林  
水産

商工・  
物流

文化・  
スポーツ

子ども・  
教育

都市・  
交通

社会  
基盤

健康・  
福祉

防災・  
消防

生活  
環境

取組を支える視点 (都市経営と市民自治)

市民との協働

民間活力の導入

アセット  
マネジメント

広域行政

### 3 (3) 3次総の評価及び4次総の方向性 ( (仮) 7大構想の目指す姿 (案) )

#### 世界に存在感を示す4つの拠点づくり

##### 歴史文化

###### 【目標】

徳川家康公が晩年暮らした駿府城公園周辺の魅力を高める取組を通じて、来街者の増加による地域経済の活性化を図るとともに、大御所が愛した「平和都市・静岡」を世界に向けてアピールする。

###### 【方針】

- ◆ 歴史文化の伝承と新たな魅力の創出による風格ある街並みの形成
- ◆ 駿府城公園周辺における賑わいと潤いのある新たな公共空間の創造



##### 海洋文化

###### 【目標】

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図り、地球全体の海を取り巻く環境の保全や、海洋人材の育成にも取り組むことで、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指す。

###### 【方針】

- ◆ 産学民官の連携による海洋文化拠点の形成
- ◆ 働くみななどに楽しむみなを加えた求心力の強い港町の創出



##### 教育・スポーツ文化

###### 【目標】

JR東静岡・草薙駅周辺地区に、すべての人が質の高い教育を受けることのできる機会を創出し、地域経済の活性化を図るとともに、多くの若者が集まり、交流が生まれるまちを目指す。

###### 【方針】

- ◆ 教育文化の薫りが漂う都市空間の創造
- ◆ 高等教育を始めとした学習機会の提供とシチズンシップに富んだ人材の養成



##### 森林文化(案)

###### 【目標】

本市が有する広大な中山間地域には、地域特有の風習や催事などの文化や、わさび・茶などの地域資源が残され、また、豊かな自然環境から生み出される清流や農作物、木材は都市の生活基盤をささえているため、これらを未来へと着実に継承し、魅力を国内外に発信することでサステナビリティを高めていく。

###### 【方針】

- ◆ 地域資源を活かしたサーキュラエコノミーの実現
- ◆ 唯一無二の文化・資源の磨き上げ、ブランド化



#### 生活の質を高める3つの仕組みづくり

##### 健康長寿のまち

###### 【目標】

人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が、いつまでも健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるまちを実現する。

###### 【方針】

- ◆ 健康寿命75歳の延伸
- ◆ 自宅ですっと暮らせるまちづくり



##### まちは劇場

###### 【目標】

本市に根付いた大道芸や演劇、音楽などの芸術文化の持つ創造性を活かし、誰もが気軽に楽しむことができる仕掛けづくりを通じて、市民の芸術文化等の創造活動への参加や活動を促すことで、市民が主役のまちづくりを進め、シビックプライドの醸成及び交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。

###### 【方針】

- ◆ わくわくドキドキの仕掛けづくりと人材育成
- ◆ 公共空間の積極的な活用による「舞台」の創出と戦略的な情報発信



##### 安全・安心のまち(案)

###### 【目標】

近年の激甚化する台風や集中豪雨、地震などの自然災害を防ぐためには、日頃からの備えが重要であり、これまでのハードの取組に加え、防災情報の共有や市民の意識の醸成など、ソフト事業も推進することで、いつ、だれが、どこにいても安心して暮らせる過ごせるまちの形成を目指す。

###### 【方針】

- ◆ デジタル技術を活用した、情報発信の強化
- ◆ 地元や民間企業や連携した、災害協力体制の強化



### 3 (4) 各部会の進め方 (作業部会概要 (案) )

	(仮) 7大構想作業部会	分野別作業部会
目的	<p>4次総の7つの重点政策について、<b>2030年の目指す姿からバックキャスト</b>で、中間アウトカム及びそのための各種事業について<b>ロジックモデルの手法</b>を用いて検討を行っていく。</p> <p>また、それぞれの<b>構想に紐づくSDGs指標の設定</b>を行う。</p>	<p>4次総における10の基本分野について、<b>2030の目指す姿、現状と課題、政策等</b>について、検討する。</p> <p>基本的には、3次総の分野別計画をベースとし、時代の変化を組込み修正を加えるものとする。</p> <p>また、それぞれの<b>分野に紐づくSDGs指標の設定</b>も行う。</p>
部会での検討内容 (ミッション)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①2030年の目指す姿の設定 ※ベースは企画局にて検討</li> <li>②現状と課題の整理</li> <li>③成果指標の設定</li> <li>④目指す姿を達成するための、中間アウトカムの設定</li> <li>⑤中間アウトカムを達成するための、手段及び事業の設定 ※検討段階における新規事業の検討・提案も認める。</li> <li>⑥構想に紐づくSDGs指標の設定</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①2030年の目指す姿の設定 ※3次総及び各種計画をベースとする。</li> <li>②現状と課題の整理</li> <li>③分野における主な政策・施策の設定</li> <li>④分野に紐づくSDGs指標の設定</li> </ol>
考え方	<ol style="list-style-type: none"> <li>①作業部会は、各構想における関係課に所属し、<b>業務に精通している職員</b>で構成する。 (事業検討では、外部委員とともに検討を行う)</li> <li>②各作業部会は、企画課、総務課と連携し、<b>ロジックモデルの作成・指標の設定</b>を行う。</li> <li>③各ロジックモデル作成においては、<b>SDGs</b>ゴール及びターゲットについても<b>検討</b>していく。</li> <li>④(仮)7大構想の評価は、<b>外部評価の対象とする</b>。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①作業部会は、<b>各局・課の企画主任者</b>で構成する。</li> <li>②基本的に<b>3次総の分野別計画</b>をベースとして<b>各局にて検討</b>を行う。</li> <li>③各分野における指標の有無については、総務課と調整のうえ、決定する。(3次総は41政策・132施策に指標を設定)</li> <li>④分野別計画は、<b>外部評価の対象としない</b>。</li> </ol>
構成及び人数	<p>【メンバー】 各関係課の職員(1名程度) (業務に精通している職員)</p> <p>【事務局】 企画課政策企画・調整係 ※ファシリテーター(各構想2名)を 企画課政策企画・調整係が担当</p>	<p>【メンバー】 各局企画主任者(1~2名) 各課企画主任者(分野担当課数による)</p> <p>【事務局】 各局調整係等</p> <p>【全体調整】 企画課政策企画・調整係</p>

### 3 (4) 各部会の進め方 (ロジックモデルイメージ)

#### 重点プロジェクトにおける政策・施策評価実施の際の参考資料

**現在** 重点プロジェクトは事業がグルーピングされた事業群になっている

##### 歴史都市① 目指す将来像

静岡浅間神社などの回遊性の向上を図りつつ、駿府城公園「桜の名所」づくりや、歴史文化施設の整備を進めるとともに、駿府城天守閣の再建を目指し、「サグラダファミリア方式」等市民の協力を得ながら天守台の整備を推進します。

グルーピング (事業を集めたパッケージになっている)

##### 個別事業

- 歴史文化施設建設事業
- 駿府城跡発掘調査事業
- お堀の水辺活用事業 等

**今後** ロジックツリーを活用し、目的－手段の関係に整理する

##### 最終アウトカム

##### 中間アウトカム

##### 手段

##### 個別事業

##### 歴史都市① 目指す将来像

静岡浅間神社などの回遊性の向上を図りつつ、駿府城公園「桜の名所」づくりや、歴史文化施設の整備を進めるとともに、駿府城天守閣の再建を目指し、「サグラダファミリア方式」等市民の協力を得ながら天守台の整備を推進します。

歴史資源をみがきあげ  
核が形成される

拠点の形成

- 歴史文化施設建設事業

各資源のみがきあげ

- 駿府城跡発掘調査事業
- お堀の水辺活用事業

各資源がネットワーク  
で結ばれる

交通インフラの整備

ソフト事業の連携

Check!

市独自のブランドが形成され  
求心力が高まる

ストーリーの形成

- ✓ 事業が足りているか
- ✓ 事業が繋がっているか
- ✓ 優先順位は

戦略的な情報発信

ロジックモデルを組み立てることで、目指す将来像からのバックキャストを体系的に整理できる。

### 3 (4) 各部会の進め方 ( (仮) 7大構想部会構成 (案) )

(仮) 7大構想	メンバー			ロジックモデル作成における有識者	
	関係各課 ※部会における検討の中で調整あり	企画課	全体統括 (企画・総務)	有識者 (学識)	市民委員
		ファシリテーター			
歴史文化の拠点づくり	観光交流文化局：歴史文化課・文化財課 企画局：アセットマネジメント推進課 都市局：都市計画課・緑地政策課 など	乗松 伊熊	【企画課】 杉村 古牧  【総務課】 石川 中条	明治大学 名誉教授 北大路氏  明治大学 教授 源氏  東洋大学 教授 米原氏  (株)Co-Lab 共同代表 伊藤氏	関係課との 調整のうえ 各構想 2～3名 程度選定
海洋文化の拠点づくり	経済局：海洋文化推進本部・水産漁港課 環境局：環境創造課・環境保全課・ごみ減量推進課 など	乗松 伊熊			
教育・スポーツ文化の拠点づくり	企画局：企画課・アセットマネジメント推進課 市民局：生涯学習推進課、観光交流文化局：スポーツ振興課 都市局：清水駅周辺整備課 など	渡辺 森山			
森林文化の拠点づくり	経済局：中山間地振興課 環境局：環境創造課 各区：葵区地域総務課、清水区地域総務課 など	渡辺 森山			
健康長寿のまちの推進	健康福祉長寿局：保健福祉長寿局全般 経済局：産業政策課、商業労政課 都市局：交通政策課 など	伊藤 牧			
まちは劇場の推進	観光交流文化局：まちは劇場推進課・文化振興課 経済局：商業労政課 都市局：都市計画課・公園整備課 など	下山 田中			
安全・安心なまちの推進	危機管理総室：危機管理課、建設局：道路保全課、河川課 市民局：生活安心安全課、保険福祉長寿局：福祉総務課 消防局：消防総務課、各区：地域総務課 など	伊藤 牧			

※総務課の政策施策評価と連携

# 3 (4) 各部会の進め方 ( (仮) 7大構想イメージ)

## 2030の目指す姿

市民が、できる限り、健康で人生を楽しむことができ、自らが望む場所で、自分らしく暮らすことができるまち

## 成果指標

指標1 ○○○○○○○○○  
○○ (○○年) → ○○ (2022年) → ○○ (2030年)

指標2 ○○○○○○○○○  
○○ (○○年) → ○○ (2022年) → ○○ (2030年)

## 施策体系

### 目指す姿 (最終アウトカム)

#### 「健康長寿のまち」の推進

人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が、いつでも健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるまちを実現します。

指標1 ○○○○○○○○  
○○ (○○年) → ○○ (2022年)  
→ ○○ (2030年)

指標2 ○○○○○○○○  
○○ (○○年) → ○○ (2022年)  
→ ○○ (2030年)



### 中間アウトカム

①市民が自主的に健康長寿に向けて取り組んでいる状態  
市民の健康度など健康に関する情報を「見える化」し、その健康意識を高めるとともに、「知」〔社会参加〕、「食」〔食事〕、「体」〔運動〕を軸とした取組を市民が主体的に進めることを促進します。

すべての人に健康と福祉を	3.4 ●●●●●	人や国の不平等をなくそう
質の高い教育をみんなに		働きがいも経済成長も

②市民が連携し、地域で支え合い体制が整っている状態  
地域に住み、その実情をよく理解している市民が、お互いに協力し合い、生活支援や介護予防に取り組む体制を整備します。

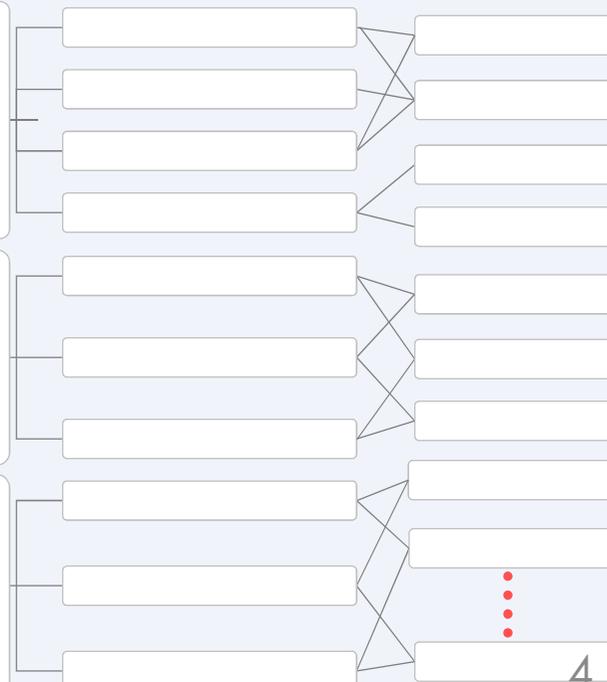
産業と技術革新の基盤をつくろう
パートナーシップで目標を達成しよう

③医療・介護専門職の連携で、切れ目ない支援ができている状態  
医療・介護の専門職が連携し、切れ目ない医療・介護サービスを提供することを支援します。

パートナーシップで目標を達成しよう	平和と公正をすべての人に
すべての人に健康と福祉を	済み続けられるまちづくりを

### 手段

### 事業など



# 3 (4) 各部会の進め方 (分野別イメージ)

## 2030の目指す姿

国内外から多くの人々が訪れ活発な交流が行われるまちの実現

## 関連するSDGsのゴール



## 現状と課題

- ① 〈現状〉  
○○○○○
- ② 〈課題〉  
○○○○○

## 分野における主要な政策

### 政策① 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光の推進

#### 【主な施策】

- ① 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり
  - ・
- ② 世界に認められた地域資源のみがきあげ
  - ・
- ③ 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興
  - ・
- ④ お茶、しずまえブランドなど食の魅力のみがきあげ
  - ・

### 政策② ○○○○○

#### 【主な施策】

- ① ○○○○
- ②
- ③
- ④

### 政策③ ○○○○○

### 政策④ ○○○○○



# 3 (4) 各部会の進め方 (政策・施策を推進するための視点 (案) )

## 政策・施策を推進するための視点

各分野の政策・施策を力強く推進していくため、すべての取組に共通して必要となる視点

### 3次総

#### 「市民自治」 (市民協働・男女共同・多文化)

- ①市民と行政がお互いの情報を共有する (知らせる)
- ②思いを行動に移す (やってみる)
- ③活動を持続し発展させる (深める)
- ④みんなの力を結集する (つながる)

#### 「都市経営」 (行政基盤強化)

- ・質の高い行政運営
- ・効果的なアセットマネジメント
- ・ICTの高度利用
- ・多面的な広域行政

### 4次総

#### 「市民自治」 (市民協働・男女共同・多文化)

##### 【関係部局】

市民局・観光交流文化局・総務局・企画局

- ・市民と行政がお互いの情報を共有する (知らせる)
- ・思いを行動に移す (やってみる)
- ・活動を持続し発展させる (深める)
- ・みんなの力を結集する (つながる)

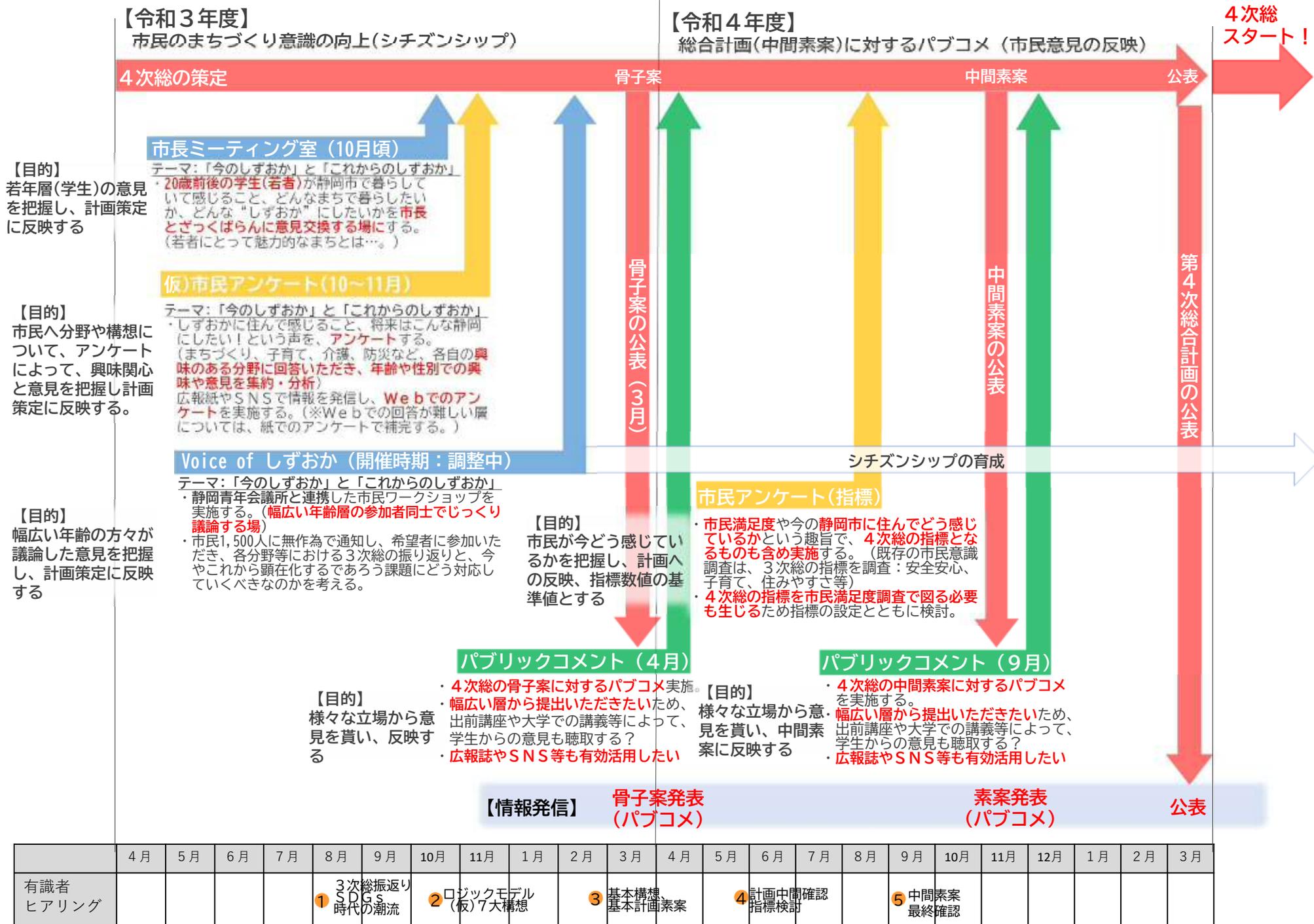
#### 「都市経営」 (行政基盤強化)

##### 【関係部局】

総務局・企画局・財政局

- ・行政内部の改革 (デジタル化・アセットマネジメント等)
- ・官民協働の推進 (民間活力の導入・エリアマネジメント推進)
- ・行政サービスの見直し (オープンデータ・キャッシュレス等)
- ・広域連携の推進 (広域行政・5市2町の連携強化)

# 3 (5) 市民参画、有識者ヒアリング (市民参画手続き予定スケジュール)



# 3 (5) 市民参画、有識者ヒアリング (市民参画手続き取組内容 (案))

## 【市長ミーティング室】

ねらい：将来のしずおかを担う20代前後の若者が、しずおかに住んでどう感じているか、どのようなまちになって欲しいか、将来どのようなまちでどのように暮らしたいか等をざっくばらんに意見交換し、若者の声を計画策定に反映する。

テーマ：「今のしずおか」と「これからのしずおか」を考える(意見公開)

- 内容：①静岡市の簡単は紹介と3次総で進めてきた取り組みの紹介(総合計画、5大構想、10分野など)  
②これから加速する人口減少や少子高齢社会等による影響についての説明  
③大きく社会が変化していく中で、どのような静岡にしていきたいか(どんな分野により力を入れると魅力的なまちになるか)  
→若者の視点から強化すべき取組は何か、どのようなまちづくりが必要かを意見交換

時期：令和3年10月頃(1時間半程度を想定)

予算：0千円



## 【Voice of しずおか】

ねらい：静岡青年会議所と連携し、市民ワークショップを実施する。(幅広い年齢層の参加者同士でじっくり議論する場)  
市民1,500人に無作為で通知し、希望者に参加いただき、各分野等における3次総の振り返りと、今やこれから顕在化するであろう課題にどう対応していくべきなのかを考える。

テーマ：「今のしずおか」と「これからのしずおか」を考える(グループディスカッション)

- 内容：①静岡市の簡単は紹介と3次総で進めてきた取り組みの紹介  
→市の役割やこれまでの取組とこれから取組んでいく事業の紹介と意見交換(総合計画、5大構想、10分野など)  
②これから加速する人口減少や少子高齢社会等による影響について  
→「未来の年表」等から、日本(静岡)が抱える課題の共有と意見交換(少子高齢社会、勤労者人口減少、行政運営など)  
③大きく社会が変化していく中で、どのような静岡にしていきたいか(どんな分野により力を入れると魅力的なまちになるか)  
→幅広い年齢の市民で、これから実施すべき・強化すべき取組は何かを議論  
④各グループでこれからどのような分野に重点的に取り組みを進めるべきかを議論し発表

時期：実行委員会と調整中(土日で開催)

予算：0千円(※市民自治推進課にて開催に係る予算あり)



## 【市民アンケート】

ねらい：広報紙やSNSを活用し市民にアンケートへの参加を促し、市政に興味を持つ市民から幅広く意見をいただく。  
市の取組全体(5大構想、10分野など)に対してどのように感じているのか、どのような分野に興味関心があるのかを把握する。

テーマ：「今のしずおか」と「これからのしずおか」を考える

内容：しずおかに住んで感じていること、将来はこんなまちにしたいという声を、アンケートする。(まちづくり、子育て、介護、防災など全般に関するアンケートと、各自が興味のある分野に対するアンケートを実施し、年齢や性別で興味関心のある分野やどのように感じているかを集約・分析する)※WEBでの回答が難しい市民に対しては紙面アンケートで補完

時期：令和3年10月~11月(1ヶ月程度を想定)

予算：1,800千円程度を予定

調査内容：広報紙等での告知によるオープン型インターネット調査及びデータ集約  
設問数：第1部：全体項目+属性(10+5問程度)、希望者選択項目：分野別(40問程度)  
紙面調査：調査票A4×8P程度/回収数(入力数)：500件程度(市有施設に設置)  
調査期間：約1ヵ月間 最大サンプル回答数：10,000件

参考：他市では郵送調査も同時実施しているケースが多いが、WEBに一本化し景品等でアンケートの回答数を増やす方が費用面からも効果的でないかと考える。(市民意識調査1,900千円：3,000人に発送し、1,500人程度から回答)



QRでチラシ等からアンケートに誘導

